

形成外科

名古屋大学医学部附属病院



病院長名	石黒 直樹
所在地	〒466-8560 愛知県名古屋市昭和区鶴舞町65番地
交通案内	JR中央線「鶴舞駅(名大病院口)」下車 徒歩3分 名古屋営地下鉄「鶴舞駅」下車 徒歩8分

病院の特徴

名古屋大学では従来より、卒前から卒後に至る一貫した臨床医学教育を実現するために、『総合医学教育センター』を設置するとともに、2008年度からは、初期研修後の専門医育成も支援するために、『卒後臨床研修・キャリア形成支援センター』として機能充実を図り、研修サポート体制の拡充を行った。これにより、名大研修の特徴である関連病院と密接に連携した質の高い臨床教育をより円滑に推進できるようになった。すなわち、2年間の初期研修のみならず、後期・専門研修のキャリアパス整備とキャリア形成の積極的支援など、後期研修や専門研修においても、病院として責任を持った体制が確立したと言える。各種教育ツールを一括管理してシミュレーションによるトレーニングを進めるとともに、OJT(On the Job Training)を重視して臨床手技の習得が速やかに行われるように力を注いでいる。

研修プログラムの特徴

【研修プログラム名】

名古屋大学形成外科専門研修プログラム

【研修目標】

1. 形成外科のあらゆる分野における知識と技術の習得
2. 診断から治療まですべての診療に関するマネージメント能力の習得
3. チーム医療実践能力の習得

【研修期間】

4年

【研修スケジュール】

4年間の研修期間の間に、形成外科領域の疾患治療を通して、解剖学を基本とした症候学、病態生理学を基本とした診断学を学び、形成外科学の特徴である手術手技能力を養うことを目標とする。基幹施設である名古屋大学医学部附属病院及び各関連病院において、それぞれの病院の特色を生かした研修を用意している。大学病院では再建手術、小児形成外科などの分野について学び、各関連病院では外傷、熱傷、創傷治療などの分野について学ぶことができる。

形成外科手術を行う上で、基本的な手術手技についての理論や適応および方法を理解し自ら実践できること、またその手術手技を用いて応用することができることを研修目標とする。



▲手術風景

主な連携施設

大垣市民病院	名古屋市立大学病院
岐阜大学医学部附属病院	岡崎市民病院
小牧市民病院	あいち小児保健医療総合センター
県立多治見病院	中部ろうさい病院
中京病院	伊勢赤十字病院
豊田厚生病院	名古屋第一赤十字病院
愛知県がんセンター中央病院	鳥取大学医学部附属病院

メッセージ

指導医
教授 亀井 譲



皆さんは「形成外科」というどのようなことを思い浮かべますか?眼や鼻などを治す顎顔面外科や美容外科の仕事、癌や外傷などの再建外科としての仕事、それとも口唇裂や漏斗胸などの先天異常の治療などでしょうか?答えは一言では言えません。前述した全てが形成外科の仕事であり、これ以外にも多くの分野に活躍の場があります。決まった手術方法がない時は、検討して独自の手術方法を作ることも可能です。名古屋大学形成外科では、形成外科の基本的な考え方や手技を学ぶとともに、大学病院ならではの難しい再建手術や他科との共同手術など経験できます。特に当院では遊離皮弁移植を始めとするマイクロサージャリーを用いた再建手術が年間120件以上あり、全国でも有数の症例数です。最近では再生医療の取り組みも盛んに行っています。仕事が多岐にわたるため、男女問わずやりがいのある分野を見つけることができると思います。興味のある方はぜひ一度見学に来て下さい。医局員一同お待ちしております。

募集要項

採用予定人数	12人	
給与/月額	月額約20万円に加え、該当する場合に手当(通勤手当、超過勤務手当、夜勤手当、特殊勤務手当(夜間診療業務手当等))を支給	
当直回数/月	あり	
当直料/回	20,000円/回	
その他	平日日勤帯の外勤等(週1日まで)可	
応募連絡先	担当者	高成 啓介
	電話番号	052-744-2525
	Eメール	keisei@www.med.nagoya-u.ac.jp

藤田保健衛生大学病院

平成30年1月 新棟オープン



病院長名	湯澤 由紀夫
所在地	〒470-1192 愛知県豊明市沓掛町田楽ヶ窪1番地98
交通案内	名鉄線名古屋駅より(22分)前後駅下車、名鉄バス(15分)「大学病院」下車 / 桜通線名古屋駅より(35分)徳重駅下車、名古屋市営バス徳重13系統または名鉄バス(16分)「大学病院」下車 / 鶴舞線伏見駅より(21分)原駅下車、名古屋市営バス徳重13系統(33分)「大学病院」下車

病院の特徴

当院は名古屋市に隣接しており、道路を渡ると名古屋市という好立地にあります。多種多様な疾患に対応しており、DPC導入の影響評価に係る調査「退院患者調査」で当院のDPC件数が全国の大学病院の中で第1位となりました。(平成26・27年度)

当科は、東海地区の大学病院で一番初めに設立された形成外科です。

よって歴史は長く先天外表異常は日本有数の症例数を誇っています。また、頭蓋骨顔面外科領域にも力を入れており、こちらの手術数も東海で最多です。その他、乳房再建もプレストセンターを設立しており、多くの手術を行っております。

研修プログラムの特徴

【研修プログラム名】

藤田保健衛生大学形成外科領域専門研修プログラム

【研修目標】

形成外科専門医カリキュラムを達成することを目標とする。

形成外科専門医制度は、形成外科専門医として有すべき診断能力の水準と認定のプロセスを明示するものであり、当大学専門研修プログラムは国民の健康・福祉に貢献できるよう、医師として必要な基本的診断能力(コアコンピテンシー)と形成外科領域の専門的能力、社会性、倫理性を備えた形成外科専門医を育成することを目的としています。

【研修期間】

4年

【研修スケジュール】

藤田保健衛生大学病院を基幹施設とし、5つの連携施設と2つの連携候補施設で、すべての形成外科専門医カリキュラムを達成することを目標とする。

但し、それぞれの病院には取り扱う疾患の分野にばらつきがある。このため、各専攻医のカリキュラム達成度を半年毎にチェックし、不足分を補うように病院間での移動を行う。



▲卒後3年目の手術風景

主な連携施設

藤田保健衛生大学坂文種報徳會病院

トヨタ記念病院

津島市民病院

土岐総合病院

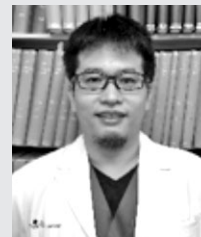
豊川市民病院

一宮西病院

小嶋病院

メッセージ

指導医
准教授 井上 義一



形成外科は臨床医学の一端を担うものであり、先天性あるいは後天性に生じた変形や機能障害に対して高度な外科的手技や特殊な手法を駆使することにより、形態および機能を回復させ、患者のQuality of Lifeの向上に貢献する専門分野です。高度な技能を磨くことは大切ですが、当院は口唇口蓋裂センター、プレストセンターを有し、他の診療科とのチーム医療も大切にしており、社会性、倫理性を備えた形成外科専門医を育成できればと考えています。当科の特徴としては、先天外表奇形が日本でも有数の症例数を要することだと思います。しかし、先天異常のみに偏っているわけではなく、頭頸部再建、乳房再建、外傷なども専門医に必要な症例は十分にあり、バランスの取れた経験を積んでいただけていると思っています。また、私自身は、美容医療にも積極的に取り組んでおり、形成外科医には審美眼も必要と思っておりますので、興味のある方は一緒に学んでいけたらと考えています。

募集要項

採用予定人数	3人	
給与/月額	基本給:月額268,840円 別途、賞与、その他各種手当、その他支給あり	
当直回数/月	3回/月	
当直料/回	当直12,000円/回 オンコール手当7,000円/回	
その他		
応募連絡先	担当者	井上 義一
	電話番号	0562-93-9249 又は090-5872-4863
	Eメール	fujitprs@fujita-hu.ac.jp

愛知医科大学病院



病院長名	羽生田 正行
所在地	〒480-1195 愛知県長久手市岩作雁又1番地1
交通案内	地下鉄東山線藤が丘駅下車 病院行き名鉄バスで約20分 東名高速名古屋ICから車で約15分

病院の特徴

当院は1974年に開院した大学病院です。充実した設備と最新の診療体制を整え、名古屋市東部の中核医療施設として地域医療に幅広く貢献しています。特定機能病院、高度救命救急センター、基幹災害医療センターなどに指定され、2017年5月1日付けでNPO法人卒後臨床研修評価機構の定める認定基準を達成していると施設として4年認定の更新がされました。

2014年5月に新病院が開院し、「元気ホスピタル～あなたを元気にする。私も元気になる」を病院のスローガンに、職員一丸となって日々精進しています。先進医療と最適な医療環境を提供し、患者さんが元気になるまで、医療従事者も効率的に働ける病院を目指しています。

研修プログラムの特徴

【研修プログラム名】

愛知医科大学形成外科専門研修プログラム

【研修目標】

医師として必要な基本的診断能力と形成外科領域の専門的能力、社会性、倫理性を備えた形成外科専門医を育成する。

【研修期間】

4年

【研修スケジュール】

日本形成外科学会が定める「形成外科専門研修カリキュラム」にもとづいて大学病院、連携施設、地域医療研修施設のそれぞれ順次研修を行います。大学病院では主に重傷熱傷、各種再建手術、先天疾患やレーザー治療などについて経験し、連携施設では、そのほかに外傷や皮膚腫瘍、美容医療などを学びながら、4年間で学会の定める300症例の治療を経験します。また、縫合研修会や拡大カンファレンスなどの合同勉強会で各自のスキルアップと各施設での治療・教育水準の統一をはかります。



▲縫合研修会など

主な連携施設

- ・名古屋第一赤十字病院
- ・大垣市民病院
- ・木沢記念病院
- ・海南病院
- ・大雄会第一病院
- ・独立行政法人地域医療機能推進機構 中京病院

メッセージ

指導医
講師 安村 恒央



経験値や技術力は、きっかけをつかんだ瞬間に飛躍的に伸びます。日々の修行と言われるものは、そのきっかけを探す作業だとも言えます。学ぶものはいかにしてそのきっかけやコツを探し出すか、教えるものは、いかにそのきっかけを掴ませるか…。どのような学びの場であれ、常にそういった姿勢で臨まなければ、時間や経験は蓄積されずに浪費されてしまいます。しかし、我々のプログラムには、患者さんを通して自分を高めていくチャンスとヒントが数多くあります。このメッセージが“きっかけ”の一つになることを願っています。

募集要項

採用予定人数	4人
給与／月額	基本給167,200円 +地域手当+調整加算手当等 約56,000円
当直回数／月	1～2回
当直料／回	(救急外来)宿直手当 約32,000円 (病棟)宿直手当 20,000円
その他	通勤手当、住宅手当、扶養手当、賞与(年2回)、社会保険等(日本私立学校振興・共済事業団(健保・年金))、健康診断 ※診療科から外勤の斡旋があります。
応募連絡先	担当者 安村 恒央
	電話番号 0561-62-3311
	Eメール keisei@aichi-med-u.ac.jp